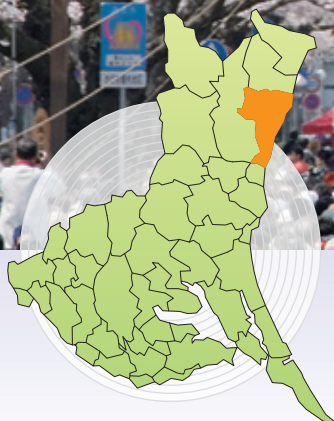


第19回 支店長のわがまち紹介

茨城県日立市

安心できる社会づくり、次世代への道づくり

日立風流物 写真提供：日立市



茨城県内の44の市町村を、それぞれにゆかりのある筑波銀行の支店長がご紹介します。第19回は、日立市です。筑波銀行は、日立市内に3カ所6カ店の営業店を設置し、日立市の皆様と密接な関係を築いています。日立支店長の佐藤琢夫が、日立市長 吉成明氏にお話をうかがいました。

●日立市が一番と考えていること、自慢できることはなんですか。

日立市は茨城県県北地域の臨海部に位置し、JR常磐線の5つの駅（北から十王駅、小木津駅、日立駅、常陸多賀駅、大甕駅）周辺に大規模な工場が立地する国内でも有数の工業都市です。これまで地元の人の力と工業化によって他から入ってきた人の力を融合した「日立力」を礎として発展してきました。

また、本市は、自然資源、観光資源も豊富です。市の北部には、全国唯一の「ウミウ捕獲場」があり、野生のウミウを捕獲して、岐阜県の長良川をはじめとする全国11か所の鵜飼地へ供給しています。また、「日本のさくら名所100選」に選ばれたかみね公園・平和通りをはじめ市内全

域に桜の名所があります。明治時代以降、日立鉱山の本格的な開発に伴って発生した煙害により荒廃した自然環境を回復させようと桜の植栽が進められ、現在では、桜は市のシンボルとして、市民の皆様にも親しまれております。その満開の桜の中開催される「日立さくらまつり」は、50年を超える歴史があり、「日立風流物」の公開や「日立さくらロードレース」などさまざまなイベントが催されます。

文化面では、日立シビックセンターの日本有数の最新鋭プラネタリウム機器「メガスターⅡA」により、昭和30年代の日立市のシンボリックな風景である大煙突と星空を本市出身で国民栄誉賞を受賞した作曲家吉田正氏の名曲「いつでも夢を」にのせて、本市の魅力を抱かしくも新鮮に伝えています。

●今後の展望について教えてください

平成26年1月に総務省が発表した平成25年の人口移動報告によると、全国の76%にあたる1,310もの自治体で転出超過により人口が減少しており、その中で本市は転出超過数1,485人で全国2番目とされました。また、5月に日本創成会議が発表した平成52（2040）年までに20～30代の若年女性が半分以下に減り、将来的に消滅の可能性のある自治体の中に本市も含まれていました。人口だけがまちの活力を表す指標ではありませんが、まちづくりにとって重要な要素の



日立さくらロードレース 写真提供：日立市



吉成市長

ひとつであることは事実であり、改めて人口問題に関する取り組みも進めなければならないと考えています。人口問題は、単に一つの自治体による取り組みで解決できるものではなく、国全体で総合的な対策を講じることが不可欠で

す。昨年、国が「地方創生」を旗印として、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、人口問題への取組強化に向けて動き出しました。これを受けて、定住人口の維持、拡大に必要な若年層や子育て世代を対象とした施策を全庁的な体制で推進するため、私自身を本部長とする「日立市人口対策推進本部」を設置しました。今後、国が策定する人口ビジョンや総合戦略等の動きを踏まえ、国や県と連携しながら、本市としての人口問題対策を総合的かつ強力に推進するため「子育て支援」、「居住推進」、「雇用」の3つを柱とした施策の具体化に取り組んでまいります。

加えて、団塊の世代が75歳を迎える「2025年問題」も間近に迫っており、世界に例を見ない超高齢社会への対応も喫緊の課題であると認識しており、介護や地域医療に関する準備も進めなければなりません。その取組の一つとして、本市の中核病院（日立総合病院、ひたち医療センター）の整備についても引き続き支援してまいります。

さらに、将来にわたるまちの発展に不可欠な道路や交通、港湾などのインフラの整備についてもしっかりと対応していきたいと考えています。道路については、本市の幹線道路である国道6号、国道245号は渋滞が恒常化し、生活上の移動に支障があるだけでなく、新しい企業や産業も入りにくい状況です。そのような状況の改善を図るため、引き続き国や県に働きかけを行い、整備を進めていきます。

また、茨城港日立港区の整備も進めてまいり



茨城港日立港区の整備 写真提供:日立市

ます。日立港区は、メルセデス・ベンツや日産自動車の輸出入拠点となっており、現在、第3埠頭の整備を進めているほか、第5埠頭では、東京ガスが東京湾以外では初めてとなる「日立LNG基地」の建設を

進めており、平成27年度末に稼働の予定です。

平成23年5月の市長就任以来、未来に向けた日立市の発展を期し、活力ある日立市を目指して、「安心できる社会づくり」と「次世代への道づくり」という大きな2つの目標の実現に真摯に取り組んできました。東日本大震災からの復旧・復興は、新中央体育館や市役所新庁舎の建設などの一部の大型事業を残しおおむね完了させることができましたが、今後さらに、次の世代が安全で安心な市民生活を送れるよう努力することが、私に与えられた使命と考えています。これからも、市民の皆様のお力をお借りしながら、次世代へつなぐまちづくりに精一杯取り組んでまいります。

●筑波銀行に期待することをお聞かせください。

地域の金融機関として、中小企業への金融支援、企業情報及び販路拡大のためのノウハウの提供を期待しています。

また、公益財団法人日立地区産業支援センターとの間で締結した「地域産業の活性化に関する協定」により、大企業が所有する特許などの知的財産を活用し、中小企業の新製品開発を推進するほか、地方銀行のネットワークを活用した販路拡大や海外進出の支援などについても積極的に行っていただきたいと考えています。



日立駅 写真提供:日立市



佐藤支店長